

様式1 (第6条関係)

令和5年6月1日

(あて先) 一宮市長

所在地 一宮市栄3丁目1番2号 i-ビル3階団体名 「withコロナ」啓発グループ代表者名 一宮 太郎

## 一宮市市民活動サポート補助金企画提案書

一宮市市民活動サポート補助金の交付を受けたく、要綱第2条第2項で規定する市民活動団体の要件を全て満たしているため、第6条の規定により、下記のとおり提出します。

## 記

補助金の申請区分 〔該当する部門を一つ選択し、○で囲んでください。〕	1 <input checked="" type="radio"/> スタート支援部門 (1回のみ) (補助率 10分の9) 2 <input type="radio"/> 若者支援部門 ( ___回目) (補助率 10分の10) 3 <input type="radio"/> ステップアップ部門 ( ___回目) (補助率 ___分の___)
事業の名称	新型コロナウイルス感染防止啓発事業
実施予定期間	令和5年 8月 1日から 令和5年 11月 30日まで
事業の分野	①保健、医療又は福祉の増進を図る事業
当該事業における市からの他の補助金等の有無	有 (補助金等の名称: _____) ・ <input checked="" type="radio"/> 無

令和5年7月1日～  
令和6年1月31日  
の間で記入してください。

※1 申請区分は、同一事業で何回目の申請か、回数と補助率を記入してください。

※2 事業の分野は、特定非営利活動促進法(平成10年法律第7号)別表に掲げる①から⑳までの事業のうち、企画内容にもっともあてはまるものを1つ選択してください。

## 添付書類

- (1) 一宮市市民活動サポート補助金申請に係る団体調書(様式2)
- (2) 一宮市市民活動サポート補助金申請事業に係る計画書(様式3)
- (3) 一宮市市民活動サポート補助金申請事業に係る収支予算書(様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。

様式2 (第6条第1号関係)

## 一宮市市民活動サポート補助金申請に係る団体調書

団 体 名	「with コロナ」啓発グループ		
団体の市内事務所の所在地	〒 491-0858 一宮市 栄3丁目1番2号 i-ビル3階		一宮市内に事務所(活動拠点)があることが補助の条件です。
代 表 者 名	一宮 太郎		
設 立 年 月	令和4年 10月	会員数※ともに活動をする人 (うち、30歳未満)	10人 (2人)
ホームページ	<a href="https://138cc.org/">https://138cc.org/</a>		
連絡先(書類送付先及び担当者) ※この申請に関する問合せに対応できる方	(書類送付先) 〒 491-8501 一宮市 本町2丁目5-6		
	(担当者氏名) 一宮 花子		
	電 話	0586-23-8883	
	E-mail	info@138cc.org	
団体の活動目的	(団体の設立目的や活動目的を記入してください。) 新型コロナウイルス感染症についての正しい知識や感染防止対策を知らせるとともに、with コロナ時代に対応した新しい生活様式を広めていくことが活動の目的である。		
主な活動内容	(現在の主な活動内容を記入してください。) 新型コロナウイルス感染症についての正しい知識や感染防止対策を記載したウェブサイトを作成		
主な活動実績	(過去の主な活動実績を記入してください。) 新型コロナウイルス感染症についての正しい知識や感染防止対策を記載したウェブサイトを公開(R5年4月～)		
一宮市市民活動支援センターへの当該団体の登録の有無について	有 ・ 無		

市からの連絡を受け取る担当者の連絡先を記入してください。  
(E-mail アドレスは、データを受け取れるもの)

一宮市市民活動サポート補助金申請事業に係る計画書

事業の名称	<p>新型コロナウイルス感染防止啓発事業</p>	<p><b>一宮市市民活動サポート補助金企画提案書(様式1)と同じ事業名、期間を記入してください。</b></p>
事業実施期間	<p>令和5年 8月 1日から 令和5年 11月 30日まで</p>	
事業の内容	<p>(企画した事業の内容を100字以内で簡潔に記入してください。)</p> <p>新型コロナウイルスの感染予防として、手洗いの方法が学べるパネルシアターや新型コロナウイルスの理解を深めるキャラクターショー、正確な知識を競うクイズ大会といった親子で楽しみ学んでもらえる啓発イベントを実施する。</p>	<p><b>広報として使用できるよう、簡潔にまとめてください。</b></p>
<p>地域又は社会を取り巻く課題と現状</p> <p><b>社会課題性</b></p>	<p>(申請事業について、地域又は社会を取り巻く課題と現状を記入してください。)</p> <p>新型コロナウイルス感染症が未だ完全に収束せず、今後も with コロナ時代に対応した新しい生活様式を広めることが必要である。すべての人が感染防止対策や新しい生活様式を取り入れる必要があるものの、こうした知識を正しく、わかりやすく伝える機会が十分でない。</p>	
<p>事業の対象者</p> <p><b>公益性</b></p>	<p>(その課題の解決のために、なぜ公金の補助が必要かについて記入してください。)</p> <p>感染防止対策や新しい生活様式の必要さを啓発するため、イベントを通して子どもたちにわかりやすく伝えることで、正しい知識を身につけ、社会全体で感染を予防することに寄与できる。こうした取り組みは公金の補助を受けて実施していくのに相応なものとする。</p>	

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>事業実施の スケジュール (設定・手法)</p> <p>及び</p> <p>実施体制 (役割分担・協力先など)</p> <p><b>妥当性</b></p>	<p>(事業実施のスケジュールとして、具体的に何をどのように行うか、①いつ ②どこで ③何を何回 などを記入してください。)</p> <p><b>8月 チラシの作成、広報</b></p> <p><b>9月 キャラクターショー打ち合わせ</b></p> <p><b>10月 パネルシアターの制作、啓発物品準備</b></p> <p><b>11月 i-ビル 3階シビックテラスで親子を対象とした啓発イベントを実施 (100人来場見込み)</b></p> <p>(事業の実施体制として、応募団体の人数やその他に協力者、協力団体など、どのような体制で事業を行うかを記入してください。)</p> <p><b>スタッフ10名で分担して事前準備を行う。</b></p> <p><b>また、イベント当日は団体のスタッフだけでなく当日ボランティアを募集して運営する。</b></p> <p><b>キャラクターショーについては、地元の劇団に依頼して実施する。</b></p> <p><b>スタッフの人数や配置など、事業を行う際の実施体制を具体的に記入してください。</b></p>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p><b>実効性</b></p>	<p>(事業実施により、地域がどう変わることが期待できるのかを記入してください。)</p> <p><b>新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識や感染予防対策を身につけるとともに、手洗いなどの日常的な衛生習慣を身につけることも期待できる。</b></p> <p><b>その結果、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与できると思われる。</b></p>
<p>浮上した、あるいは想定される課題や反省点に対する改善策と事業の継続性について</p> <p><b>発展性・継続性</b></p>	<p>(これまで、事業を実施してきた中で浮上してきた課題や反省点を記入するとともに、これに対し、今後に向けてどう改善して継続させていくのか、また、一過性ではなく次年度以降も事業を継続させるための考えを記入してください。)</p> <p><b>今回のイベントで得た経験を生かして、今後は市内の保育園や児童館、子ども会の行事などで活動していく予定である。</b></p> <p><b>継続的な資金確保については課題があるため、他の公募の助成金の獲得を目指すなど、事業が継続できる方法を検討していきたい。</b></p>
<p>その他、自己PR</p>	<p>(プレゼンテーション審査は行いません。この活動にける想い、熱意が伝わるような自己PRを簡潔に記入してください。)</p> <p><b>このまちを良くしたいと意欲のある団体を育むことは、このまちの住みやすさにつながります。小さなことですが、まちづくりのために尽力し、地域社会に貢献できるよう頑張っていきます。</b></p>

様式4 (第6条第3号関係)

一宮市市民活動サポート補助金申請事業に係る収支予算書

収 入

科 目	金額(円)	内 訳
一宮市市民活動サポート補助金	100,000	<p><b>補助金額は、</b>  <b>①補助対象額に補助率を乗じた額</b>            113,400円×9/10=102,060円 と  <b>②事業費から事業収入を引いた額</b>            113,400円-0円=113,400円 と  <b>③補助金額の上限 100,000円 のうち</b>  <b>一番少ない額で、千円未満切り捨てとなります。</b></p>
当該事業における事業収入	0	
自主財源	13,400	
計	113,400	

支 出

科 目	金額(円)	うち、補助対象額(円)	内 訳※ <sup>1</sup>
報償費	50,000	50,000	キャラクターショー報償費 50,000円
旅費			
印刷製本、消耗品費	20,000	20,000	パネルシアター材料費 5,000円、チラシ印刷費 5,000円、啓発物品代 10,000円
食糧費			
通信費、手数料	8,400	8,400	チラシ郵送料 84円×100箇所=8,400円
備品費※ <sup>2</sup>			
人件費	15,000	15,000	イベント当日 スタッフ、ボランティア 1,000円/日×15人=15,000円
使用料、賃借料	20,000	20,000	会場使用料
その他			
計	113,400	113,400	

※1 一部が「補助対象額」となる場合は、その該当分のみを( )書きで再掲してください。

例) 講師・スタッフ弁当代 @600円×5人=3,000円 (@600円×1人=600円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。